

ノエ・乾

ヴァイオリンリサイタル

Noé Inui Violin recital

《ヨーロッパの伝統を一身に担う若き天才ヴァイオリニスト》

～ベルギー・ヴァイオリン楽派の正統後継者が贈る絶美名作プログラム～

Profile プロフィール

ノエ・乾 — Noé Inui —

1985年ギリシャ人の母と日本人の父のもと、ベルギー王国ブリュッセルに生まれる。ブリュッセルの音楽アカデミーと王立音楽院でフランコ・ベルギー楽派の後継者ジャック・デュブリエとヴェロニク・ボガールツにヴァイオリンを学ぶ。続いて、パリ国立高等音楽院、ドイツのカールスルーエ国立音楽大学へ進んで名ヴァイオリニストのオリヴィエ・シャルリエ、ウルフ・ヘルシャーへ師事した。2005年シベリウス国際コンクール特別賞、2006年ヴァルセージア国際コンクール第3位を経て、同年ナポリ・クルチ国際コンクール第1位、2008年ニューヨーク・ヤング・アーティスト国際コンクール第1位、2011年ジーナ・バッカウアー賞、2012年ヴェルビエ音楽祭ユリウス・ベア賞各受賞。

欧州ヴァイオリン音楽の系譜を体現した名手として、ドイツ、フランス、オランダ、ベルギー、イタリア、アメリカ合衆国、ブラジル、アルゼンチン等世界各地で演奏活動を行い、マルタ・アルゲリッチ等著名アーティストとの共演も数多い。2010年ソロ・デビュー・アルバムをリリースと同時に初の日本ツアーを実施し、話題を呼んだ。2011年4月以来、毎年東日本大震災復興支援公演へ取り組んでいる。2012年から13年にかけて、アレクサンドル・ラザレフ、ケン=デイヴィッド・マズアの指揮する日本フィルハーモニー交響楽団へ客演して絶賛を博した。2016年2ndアルバム「アイデンティティ」がミュージックウェブ・インターナショナル年間最優秀録音に選出される。2017年4thアルバム「ザ・コスモポリタン」リリース。18世紀の銘器トマソ・バレストリエリを使用。デュッセルドルフ在住。



PHOTO ©Seiichi Uozumi



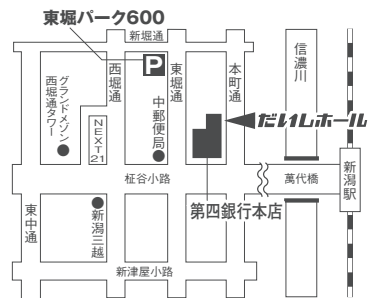
©Shinji Ito

Profile プロフィール

本山 乃弘 — Norihiro Motoyama (Piano) —

1983年長崎県生まれ。4歳よりピアノを学び、東京藝術大学附属音楽高校及び同大学器楽科卒業。2008年巨匠アルド・チッコリーニの知遇によりパリ・エコールノルマル音楽院へ進み、フランス・クリダとポール・ブラシュエに師事。全課程首席を経てコンサーティスト高等ディプロム取得。2009年より12年迄ザレスキ財団奨学生。パリのサル・コルトー、ラサルのフェット・ドゥ・ラルト音楽祭等フランス各地を始め、ヨーロッパ、日本で多数の公演に参加。ラトヴィア国立交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団メンバー等とも共演を重ねる。東京藝術大学非常勤講師。

だいし
ホールの
ご案内



- 新潟駅より車で5分。
- 新潟駅万代口よりBRT万代橋ラインで「本町」下車、徒歩1分。
- 会場に駐車場はありません。提携駐車場「東堀パーク600」をご利用されますと、駐車料金が1時間分無料になります。



©K.Miura

清水 研作 — Kensaku Shimizu — (作曲家・新潟大学教授/What's Music?プロデューサー)

2010年にノエ・乾さんのために作品を書いた時から、私は彼のヴァイオリンに魅せられてきました。卓越した技術を有することは、ニューヨーク・ヤング・アーティスト国際コンクール第1位、ナポリ・クルチ国際コンクール第1位等数多くの賞を受賞されていることでも明らかですが、何と云っても音の優雅さ、華やかさ、そして、したたかな美音が彼の特徴なのです。

これは、彼が、イザイ直系の孫弟子としてフランコ=ベルギー楽派の正統後継者に当ることからも納得できます。有名なヴァイオリニストでもあった、イザイ作曲の無伴奏ヴァイオリン・ソナタ、そして、イザイに献呈され、フランス系のヴァイオリン・ソナタのなかで最高傑作と言われる、フランクのヴァイオリン・ソナタを、ノエさんの演奏で聴くことができます。これは夢のようなリサイタルになること、間違いありません。その中で私の「情熱的詩曲」がどのように響くのか、想像するだけで高揚する気持ちを抑えることができません。